



弘 師

編 集 発 行 者
第 1 4 後 方 支 援 隊

令和3年 夏号

要望事項

基本基礎の徹底
進化無限



主な記事

第一面	隊長挨拶	第四面	転出者及び 転入者紹介
第二面	着任副隊長 着任中隊長 挨拶	第五面	D G P E 帰国隊員 昇任者紹介 陸曹候補生等 合格者紹介 定年退職者 紹介
第三面	訓練等風景 ハリキリ W A C		

広報誌「弘師」やインターネットで本記事をご覧の隊員やご家族及び十四後支会会員の皆様並びに全国の同僚や応援してくださる国民の方々におかれましては、平素から第十四後方支援隊の活動に対するご理解のもと、多大なるご支援・ご協力を頂戴しておりますこと心より感謝申し上げます。

さて、令和三年も早いものでもう折り返し地点を通過し、今般の定期異動で新副隊長川村二佐以下七名の転入者を加え、気持ち新たに総勢四百二十八名で後半戦を再スタートしていきます。まずは情勢認識を踏まえつつ近況報告などさせていただきたく存じます。

我が国を取り巻く安全保障環境は半年前と同様、というより緊張の度合いが上昇していると感じます。米国のアフガン撤兵、自由で開かれたインド太平洋重視戦略、西欧諸国まで巻き込む形をとりつつある南西諸島情勢、コロナパンデミック、東南アジア政情不安定・民衆不満、地球規模での異常気象に起因する大規模災害など、例えるならいつ爆発してもおかしくない火山の上で暮らしているようなそんな気がしています。従いまして、我々後支隊は、どんな事態においても的確に対応できるよう平素の兵站衛生支援任務に万全を期しつつ、いざという時のいろいろなパターン

の活動を予期して日夜訓練に励んでいるところです。

七月は滋賀県のあいばの演習場において事前集積品の取扱訓練と陣地構築訓練を実施しました。事前集積品の取扱訓練は海上輸送されるいろいろな物資を港湾や展開地においてどのように取り扱うかを確認したり検証したりするものです。陣地構築訓練は小型ドーザと人力をもって敵の攻撃から自分たちの身を守るための各種工事を行う訓練です。

両訓練とも猛暑の中実施しましたので、暑熱対策を確実に実施しながら臨みました。参加者全員疲労困憊でしたが成果の多い良い訓練ができました。

また五月から七月にかけてオーストラリアでの共同訓練に参加していた三名の隊員及び一月中旬以来、アフリカのジブチ共和国で活動していた八名の隊員も八月上旬に帰国いたしました。十一名全員がそれぞれ任務を完遂し無事帰国してくれたことに隊長としても安堵や感謝の気持ちでいっぱいです。

そして九月と十月には陸上自衛隊演習が控えております。後支隊も総力で参加しつつ、旅団長の実施する訓練検閲を受閲予定です。「生き残り、かつ戦い、支援任務を全うする」ために積み上げてきた成果を発揮して参ります。

また少し先の話ではありますが、ワクチンや治療薬の担当がすすみ、コロナ禍が少し収まってまいりましたら、ご家族及び十四後支会会員の皆様をお招きする形で令和四年三月に後支隊記念行事を挙行したいと考えております。

時節柄、残暑や水害等で油断ならない日々が続きます。どうか皆様の穏やかな日常が続きますようにお祈り申し上げます。



第 1 4 後 方 支 援 隊 長
1 等 陸 佐 吉 元 雄 一

着任副隊長挨拶



副隊長

二等陸佐 川村 修司

令和三年八月一日付で副隊長に着任した川村二佐です。幹候期は92U、出身は福岡県久留米市です。四国での勤務及び中方での勤務は今回が初めてです。初めての四国勤務を楽しみにしています。今回の異動で数々の輝かしい功績を残してきた第十四後方支援隊の一員になれることを光栄に感じています。

職種は野戦特科です。これまで総監部、司令部、学校等の各種勤務を経験しましたが、兵站関係の業務には一度も携わったことはありません。しかしながら勤務を通じて、兵站・衛生業務は、災害派遣等においても最初から最後まで長期間の勤務をしており、重要性や大変さを感じています。災害派遣といえ、東日本大震災時、私は宮城県の南三陸町に派遣されましたが、南三陸町の隣の石巻市で第十四旅団が活動しており、今回、その第十四旅団で勤務するということで、不思議な縁を感じています。話は戻りますが、検閲等でも戦闘職種は状況が終了すれば、それで終わりという感覚がありますが、兵站・衛生業務は全部隊が撤収するまで業務を継続しており、正に縁の下の力持ち、兵站・衛生なくして作戦なしを実感しています。

旅団の作戦において極めて重要な任務を遂行している後方支援隊の任務完遂の一助になれるよう努力する所存ですので、よろしく願います。

着任中隊長挨拶



第一整備中隊長

一等陸尉 宇佐見 将則

令和三年八月一日付で第一整備中隊長に着任した宇佐見一尉です。幹候期は08I、職種は武器科、出身は千葉県柏市です。

中部方面隊での勤務すること及び四国を訪れることも初めてで、この土地の文化・風習に触れることを非常に楽しみにしています。

また、第一整備中隊長として指揮・統率できることは身に余る光栄であり、楽しみである反面、責務の重大さに身の引き締まる思いでもあります。私自身、まだまだ未熟者ではありますが、陸士、陸曹のときに整備員として経験したこと、幹部として小隊長、運用訓練幹部、支援計画班長のときに経験したことを活かして、理想の部隊を目指していきたいと思えます。

本年度は、じ後、後方支援隊が旅団訓練検閲受閲を控えているため、それに向けて中隊の現状、隊員の心情の把握及び中隊の練度等の概要を把握し、中隊の更なる進化に向けて中隊一丸で臨む所存であります。

私におきましても率先垂範、常に陣頭に立って指揮していく所存でありますので、今後のご指導・ご協力賜りますようお願い申し上げます、着任のご挨拶とさせていただきます。

訓練等風景

第1回持続走競技会



第1次隊訓練検閲



第3次隊訓練



Q 出身地はどこですか？

A 兵庫県尼崎市です。

Q 入隊の動機は何ですか？

A 公務員になりたかったからです。

Q 入隊して良かったことは？

A 規則正しい生活ができています。

Q 長所と短所は？

A 長所：面倒見が良いところ
短所：人見知りなところ

Q 趣味は何ですか？

A 旅行です。

Q 特技を教えてください

A ピアノとトロンボーンを演奏できます。

Q 今一番やりたいことは？

A ディズニーランドに行きたいです。

Q 今後の目標は？

A 世界中のディズニーランドを回りたいです。

Q 最後に一言お願いします。

A これからも火器整備を頑張ります。



手として活躍する、大杉おおすぎ麗音かのん陸士長です。

ハリキリWAC

祝 御栄転

隊本部

北部方面総監部へ

二等陸佐 彦坂 一夫

教育支援施設隊へ

二等陸尉 豊嶋 亮太

本部付隊

第十五即応機動連隊へ

陸曹長 山地 貞之

第四師団司令部付隊へ

二等陸曹 塚水 涼太

第一整備中隊

第十師団司令部へ

一等陸尉 上田 純

第二整備中隊

第二後方支援連隊へ

三等陸曹 浅沼 拳慎

即応機動直接支援中隊

第三後方支援連隊へ

二等陸曹 高倉 康公

輸送隊

輸送学校へ

陸曹長 清水 大樹

日本原駐屯地業務隊へ

一等陸曹 竹内 鉄洋

衛生隊

第十三後方支援隊へ

二等陸曹 藤原 裕幸

第九後方支援連隊へ
三等陸曹 岡田 慈朗

第十四後方支援隊へ
ようこそ

隊本部

富士学校から

二等陸佐 川村 修司

奈良地方協力本部から

二等陸尉 西嶋 誠

本部付隊

第十五即応機動連隊から

三等陸曹 玉井 恭平

第一整備中隊

第六後方支援連隊から

一等陸尉 宇佐見 将則

東部方面後方支援隊から

三等陸曹 井上 大機

即応機動直接支援中隊

中部方面通信群から

三等陸曹 竹下 美羽

輸送隊

第十四旅団司令部付隊から

一等陸曹 川野 竜一

部内配置換

本部付隊へ

即応機動直接中隊

二等陸曹 岩本 兼治

同 河井 徹夫

即応機動直接支援中隊へ

本部付隊

二等陸曹 金子 雅範

補給中隊へ

本部付隊

陸士長 東 真由



野田院古墳 (善通寺市)

DGPE帰国隊員

隊本部

一等陸尉 栗林 正樹

第一整備中隊

一等陸曹 村上 昌聡

二等陸曹 篠田 智明

即応機動直接支援中隊

三等陸曹 田畑 伸之介

補給中隊

二等陸尉 櫻井 浩太郎

三等陸曹 下川 佳祐

輸送隊

二等陸尉 石原 天道

第三〇一特科直接支援隊

二等陸曹 森田 昌利



金刀比羅宮 奥社 (琴平町)

祝昇任

三等陸佐へ

隊本部

一等陸尉

小野寺 範朗
令和三年七月一日付

二等陸尉へ

本部付隊

三等陸尉

石岡 諒士

第一整備中隊

三等陸尉

長江 優行

即応機動直接支援中隊

三等陸尉

相良 謙

補給中隊

三等陸尉

櫻井 浩太郎

輸送隊

三等陸尉

石原 天道

衛生隊

三等陸尉

岡崎 孝之

同

安樂 円

同

深井 裕介

以上令和三年七月一日付

准陸尉へ

本部付隊

陸曹長

岡本 隆
令和三年七月一日付

陸曹長へ

本部付隊

一等陸曹

山本 一也
令和三年七月一日付

一等陸曹へ

本部付隊

二等陸曹

高原 和宏

輸送隊

二等陸曹

杉原 秀樹
以上令和三年七月一日付

二等陸曹へ

第二整備中隊

三等陸曹

岸本 雄成

即応機動直接支援中隊

三等陸曹

上原 健二

輸送隊

三等陸曹

廣瀬 学
以上令和三年七月一日付

三等陸曹へ

第一整備中隊

陸士長

吉中 裕樹

同

安藤 悠希

即応機動直接支援中隊

陸士長

中司 優斗
富田 悠斗

補給中隊

陸士長

鍵山 省吾

輸送隊

陸士長

大本 拓実

同

山田 亮太

衛生隊

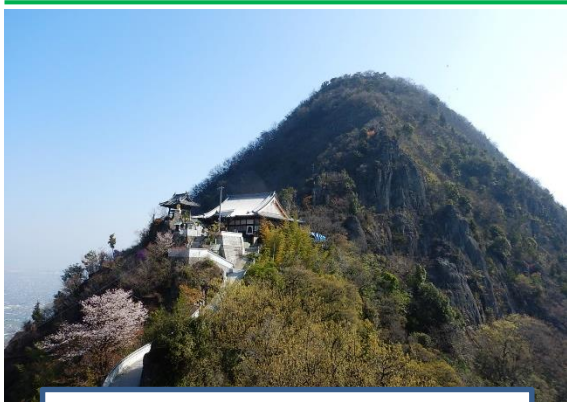
陸士長

深井 夏輝

同

河村 茉奈

白井 亜由乃
以上令和三年七月一日付



出釈迦寺奥の院及び我拝師山 (善通寺市)

祝指定

陸曹候補生指定

本部付隊

陸士長

東 真由

同

増田 一 冴

即応機動直接支援中隊

陸士長

山本 加音

輸送隊

陸士長

水口 靖崇

以上令和三年七月一日付

入校予定者指定

第二整備中隊

陸士長

齊藤 知陽

補給中隊

陸士長

芳谷 美穂

以上令和三年七月一日付

定年退職

衛生隊

准陸尉

高井 友敬

令和三年四月八日付